

令和3年度 事業報告

施設名 幼保連携型認定こども園 同朋住吉台こども園

事業年度	定員 (人)			児童数(年平均) (人)			充足率 (%)			延長保育利用人数 (延人数)		園庭開放 (他)
	65人	1号	15人	59人	1号	8人	91%	1号	52%	53人	96人	117人
平成29年度		2,3号	50人		2,3号	51人		2,3号	102%			
平成30年度	65人	1号	15人	60人	1号	7人	93%	1号	44%	71人	54人	149人
		2,3号	50人		2,3号	54人		2,3号	108%			
令和元年度	65人	1号	15人	62人	1号	3人	96%	1号	21%	49人	46人	89人
		2,3号	50人		2,3号	59人		2,3号	119%			
令和2年度	65人	1号	15人	60人	1号	8人	92%	1号	55%	27人	29人	34人
		2,3号	50人		2,3号	51人		2,3号	103%			
令和3年度	65人	1号	15人	51人	1号	2人	79%	1号	15%	60人	17人	14人
		2,3号	50人		2,3号	49人		2,3号	98%			

方基法 針本人	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	同朋福祉会創立者江川義清の「人は大切 子は宝」の理念をもとに、乳幼児を保育する中、人間尊重と子ども第一主義で子どもの最善の利益を追求し、積極的に福祉の増進を図る。	子ども達の遊び(興味・関心・好奇心)から生まれる経験や環境への主体的な関わりを通して豊かで健全な心と体の育成を目指した教育・保育を行い、小学校以降の生きる力の基礎を培う→指導計画へ ・虐待防止・個人情報保護・苦情解決システム	・子どもの人権マニュアル見直し(年1回) ・虐待チェックリスト(年3回) ・苦情解決・守秘義務遵守マニュアル見直し(年1回)	人権研修については外部講師を招いて行うことはできなかったが、正規、非正規問わず、子どもの人権マニュアルの見直しを行い、日ごろの保育の中で子どもの対応や声かけについて見直すことができた。	新年度は、3名の新採用職員がいるので、子どもの人権マニュアルは新年度入って早々に見直しを行い、丁寧に伝えていく。
サービスの向上	・サービスの明確化 ・保育内容・質の向上 ・健康及び安全	・保護者アンケート(年3回) ・保護者と共有保育目標作成、評価(年2回) ・登園時の健康状態把握(随時) 日中検温(1日3回) ・園児一人一人の状態確認(随時) ・玩具の見直し、消毒(随時) ・温度・湿度点検(1日3回) ・安全点検(月1回) ・乳児SIDSチェック(日々) ・月案会議(月1回) ケース会議(年4回)	・月案会議(月1回) ・個別懇談会(6月) ・保護者アンケート(保育・給食計2回) ・園児の検温を行う(1日2~3回) ・園内外のアルコール消毒(随時) ・温度湿度点検(一日3回) ・午睡チェック(日々)	日々、園内の換気や玩具の消毒、検温などを小まめに行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めることができた。次年度も引き続き取り組んでいきたい。	感染拡大防止対策に関して、全職員で共通認識することで、子どもたちが健康で安全に生活できるよう取り組む。
地域との共生	・子育て支援 ・地域との連携 ・世代間交流 ・教育機関との連携	・子育て相談(随時) ・園庭開放や乳幼児子育て応援事業(年96回) ・地域への保育室や運動場開放(地域絵会やランドゴルフ) ・地域福祉センター交流会(年2回) ・小学校連絡会(年2回) ・5歳児交流会(年4回)	・子育て電話相談(毎週水曜日) ・園庭開放・乳幼児子育て応援事業(年96回) ・地域への運動場開放(第1第3土曜) ・小学校との連絡会(2月) ・地域清掃(年2回)	・新型コロナウイルスの影響により、例年に比べ、地域の親子参加は少なかったが、例年より地域の方への運動場の開放は変わらず利用して頂けた。 ・就学前の小学校との連絡会は例年と変わらず行うことができた。	地域の方には積極的に園の行事等に参加できる機会を設けると共に、児童館と連携を取り、園での活動に参加してもらい入所につなげる。
人材育成	・職員の質の向上	・スキルアップのためのキャリアアップ研修受講 ・次世代育成のための実習生受け入れ ・研修計画に基づいた外部研修、園内研修	・キャリアアップ研修受講(対象者) ・実習生受け入れ(6月9月3月) ・危機管理研修受講(全職員) ・権利擁護研修(全職員) ・ハラスメント対策研修(全職員) ・市民救命士講習(新任・非常勤)	・ほとんどの研修がオンラインでの実施だったので、予定通り参加することができた。 ・市民救命士講習の取り組みは、定着してきている。	・次年度もキャリアアップ研修は積極的に参加していきたい。 ・園内研修は昨年に続き、非正規職員にも積極的に参加してもらい、質の向上につなげる。また、今後も職種問わず取り組んでいきたい。 ・実習生の受入を、積極的に行い人材確保につなげる。